

# 専門学校東京 CPA 会計学院

## 学校関係者評価報告書

### 令和 6 年度

実施日 令和 7 年 5 月 18 日

※令和 6 年度学校自己評価（基準日：令和 7 年 5 月 1 日）をもとに評価実施

## 令和6年度 学校関係者評価報告書について

学校法人高橋学園専門学校東京 CPA 会計学院は、すべての教育活動・学校運営業務において、現状を客観的に確認しながら評価し、改善向上を図るため学校自己評価を実施しています。この度、令和元年度より、教育・学校運営に反映すべく学校関係者評価を実施しました。令和2年度からは学校自己評価及び学校関係者評価を実施しております。

本校との関係の深い方々のご意見を広くお聞きし、その際にいただいた多くの貴重なご意見は、その後の施策に反映させていただき、あらためて学校評価の重要性を認識しているところです。

この度は、卒業生・会計関連業界団体の皆様 や会計・教育等に見識をお持ちの方々に学校自己評価の結果をお示しし、ご意見をいただきましたので、ここにご報告させていただきます。

今後もより良い学校となるべく教職員一同、一層努力して参る所存です。引き続きご支援、ご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。

令和7年5月

学校法人高橋学園

専門学校東京 CPA 会計学院

校長・学校評価委員会委員長

高橋 淳二

## 学校関係者評価の実施方法と今後の取り組み

### 【評価委員】

学校教育法施行規則の規定、文部科学省、東京都ほか関係行政機関の指導・ガイドラインをふまえ、卒業生、会計関連業界団体・企業等3名の方々に評価委員をお願いいたしました。

### 【評価方法】

評価者の方々に、学校関係者評価の概要や私立専門学校等評価研究機構が策定した学校評価基準（文部科学省生涯学習政策局による専門学校における学校評価ガイドラインに準拠）の評価項目および学校自己評価報告書を事前に示し、令和7年5月18日に、卒業生、会計関連業界団体・企業等の委員にご参集いただき、令和6年度学校自己評価報告書の点検項目に沿ってご質問、ご意見をいただきました。

### 【報告書】

いただいたご意見等を学校長以下教職員で組織する学校評価委員会で承り、要旨を本報告書にとりまとめました。令和6年度学校自己評価報告書と併せてお読みください。

### 【報告書の構成】

本報告書は以下のとおり記述しています。

- 学校自己評価報告書の評価基準・点検項目
- 評価者の意見・質問
- 質問・指摘の場合は本校の回答

### 【今後の取り組み】

ご意見は、次年度以降の、教育課程編成、各種計画などを立案する際、十分に考慮し、可能な項目より実現に向けて取り組んで参ります。

## 専門学校東京 CPA 会計学院 学校評価委員会

学校関係者評価者ご紹介（敬称略）

【卒業生】【関連業界団体・企業】

税理士法人 R I Z E 代表社員 税理士 田口益巳

協立管理株式会社 代表取締役 荒川 隆志

土屋会計事務所 税理士 熊崎富久夫

学校関係者評価者が所属する企業・団体の詳細は公式サイトをご参照ください

税理士法人 R I Z E <http://risetax.jp/>

協立管理株式会社 <http://www.kyoritsu-kanri.co.jp/>

土屋会計事務所 <https://tcy-tax.com/>

## 基準 1 教育理念・目的・育成人材像

点検項目【1-01~05】理念・目的・育成人材像

### 評価者意見・質疑

- 少子化が進むなかで、各学校の経営は厳しい状況と聞いている。伝統の教育理念を維持することも大事であるが、それを続けるだけでいいのか。
- 高等課程の状況はどのようになっているか。
- 税理士試験の受験者は減少傾向にあるが、これから税理士志望者をどのように募集していくのか。
- 会計のスキルだけではなく、一般教養やITなども指導をしているか。

### 学校からの回答

当校は、次世代を見据えた学校体制の構築を目指し、高等課程「会計エレメンタリー科」を開設したものの、募集の状況は芳しくない。しかし、第一期生が18歳で税理士5科目合格という快挙を達成してくれた。これについて、新聞など報道各社に取材依頼をかけたところ、読売新聞と毎日新聞、静岡新聞でとりあげてもらうことになった。このような実績を示し、募集に結び付けていきたい。ただ、いまのところ報道の反響は限定的で、まだまだ社会での認知度を高めていく必要性を感じる。

専門課程「会計プロフェッション科」においては、学生募集に苦戦しているのが実情である。高等学校では全国的に商業科を整理し、商業高校を統廃合する傾向が強まっている。また、商業高校からの大学進学を推進する傾向も強く、専門学校進学には向かい風の状況は引き続き厳しいものがある。そんな中でも、当校の教育内容に賛同する教員は僅かにいる。そういう教員との連携を強めていくのが現時点で採りうる最善の学生募集活動となっている。もちろん、生徒や保護者へ直接訴求する方法も模索している。若者はSNS中心の生活をしているため、SNSを通じた広報活動に注力していく予定である。しかしながら、どのような方策があるか、模索しているところである。

専門学校をとりまく経営環境は依然として厳しく、確実に年を追って学校経営が難しい時代になってきている。当校が未来の日本社会に対してどのような教育的な貢献ができるのかを問われていると受け止めている。高度な会計スキルだけではなく、ITやAIに関する知識も授け、さらに、教養及び人間力教育に力を入れていく。

なお、新卒就職活動市場は人材難から売り手市場になりつつあるが、そもそも学生たちに就業意欲が低い者が増えている状態であるので、就職指導においても動機づけなど、様々な工夫を求められている。社会人に向けての意識改革から丁寧な就職指導を心がけたい。

## 基準 2 学校運営

点検項目【2-06】運営方針

点検項目【2-07】事業計画

点検項目【2-08】運営組織

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【2-09】人事・給与制度

### 評価者意見・質疑

「働き方改革」が叫ばれて久しいが、教職員の待遇は改善しているのか。

### 学校からの回答

ちょうど労働基準監督署の巡回指導を受けたので、最新の規制に沿った労働規則に更新する作業を行った。これに伴い、教職員の待遇を見直し、来年度から一定の賃金アップを実施している。

点検項目【2-10】意思決定システム

点検項目【2-11】コンプライアンス体制

点検項目【2-12】情報公開

点検項目【2-13】情報システム

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準 3 教育活動

点検項目【3-14~19】目標の設定

点検項目【3-20~21】教育方法・評価等

点検項目【3-22】成績評価・単位認定等

点検項目【3-23~26】資格取得等の指導体制

点検項目【3-27】教員研修等

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準4 学修成果

点検項目【4-28~29】就職率・資格取得率等

### 評価者意見・質疑

□簿記検定や税理士試験の合格率がかつてに比べて芳しくないように見えるが、問題はないのか。

### 学校からの回答

まず、自己評価報告書に記載した合格実績は、会計プロフェッション科については2年制の在学期間についてのみとなっている。税理士試験はご存知の通り8月に実施するので、多くの合格実績は卒業後となってしまふ。とはいえ、近年では、入学者の減少に加えて、税理士コースへ進む学生も減っているのが事実である。どうしても数の減少と質の低下は否めない状態である。

抜本的なことを言えば、学生募集を強化し、入学者を増やして、指導実績をあげ、税尻を志望する学生の数の増加と質の向上を図らなければならないが、これこそ難しい課題と言わざるを得ない。可能な限り、改善策を講じていきたい。

点検項目【4-30】退学率の低減

### 評価者意見・質疑

□東京 CPA 会計学院の退学者の状況はどうなっているか。増えたか、減ったか。

### 学校からの回答

退学率低減対策を講じているにもかかわらず、令和6年度の退学率（休学等を除く）が15%となり、昨年度より8ポイントも増加してしまっている。退学率の低減は急務と言える。

退学の主な原因としては、メンタル面の問題があげられる。性格診断などの時期を早め、早期に学生の特性を捉えるようにしているが、メンタル面でのサポートの実効性を高めるのはそう簡単なことではない。

また、スクールカウンセラーの依頼も考えているが、なかなかよい人が見つからない状態

が続いているが、これからも引き続き探していく。

#### 点検項目【4-31~32】卒業生の社会的評価

この項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準5 学生支援

#### 点検項目【5-33】就職等進路

##### 評価者意見・質疑

□近年は人手不足・売り手市場ということで、就職環境は大きく変化している。学生たちとしては楽になったであろうが、就職に対する意識は、どんな状況になっているか。

##### 学校からの回答

就職環境について、人手不足。売り手市場というのは学生にとって有利なのは明らかであるが、かといって多くが希望するような人気の就職先での選考は以前にも増して競争が激しくなっている感もある。

就職希望者が選り好みできる環境というのは、安易に妥協しないことを意味し、就職指導も相応の対応が不可欠である。学生側の希望を聞くとともに、どんな企業等へどのようにアプローチしていくべきかは、より慎重な判断が求められる。かといって、時間的に余裕があるわけではなく、むしろ早期に動き出すような心構えが求められている。

そんな中でこそ、やはり、個人の資質を高め、それをしっかりアピールしていけないと難しくなってしまう。

なお、業界説明会は各種企業等から好評を得ている。特に税理士事務所等については、優秀な学生を確保したいという強い希望がある。会計事務所や税理士法人でそれぞれ特色があるので、学生の希望とマッチングさせていくことが重要となる。業界説明会を最大限に活かして、学生と事務所等の方が直接相談できる機会を増やしていきたい。

#### 点検項目【5-34】学生相談

#### 点検項目【5-35~38】学生生活

#### 点検項目【5-39】保護者との連携

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【5-40~43】卒業生の支援、社会との連携等

評価者意見・質疑

昨年度、CPAキャリアサポートとの連携の話があったがどのようになったのか。

学校からの回答

グループであるCPAキャリアサポートとの連携は行っているが、具体的な転職者の支援実績は少数である。これからも強化していきたい。

## 基準6 教育環境

点検項目【6-44】施設・設備等

評価者意見・質疑

外壁の大規模修繕工事はうまくいったのかどうか。

学校からの回答

大規模修繕はほぼ予定通りに実施され、校舎の外観が一新された感がある。昨今のインフレを考えると、早めに施工を行ったのは賢明な判断であったのではないかと考えている。

点検項目【6-45】学外実習・インターンシップ等

評価者意見・質疑

他の学校はインターンをやっているが、東京CPA会計学院ではまだやらないのか。

学校からの回答

当校として、学生にインターンの経験を積んでほしいと願うところはあるが、いまのところ2年制の専門課程のカリキュラムにおいては、短い期間で集中的に学習する必要があり、簿記・会計の専門科目の修得と就職活動の両立だけで精一杯であり、組織としてインターンシップ体制を整備する状況にはないとする。

点検項目【6-46】防災・安全管理

この項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準 7 学生の募集と受け入れ

### 点検項目【7-47~49】学生募集活動

#### 評価者意見・質疑

□少子化が進み、どこの学校も募集で苦戦していると聞いている。学生募集活動をどう改善しているのか。

#### 学校からの回答

厳しい少子化において、各校が学生募集において競争を繰り広げている。当然に他校のやり方も参考にしているが、当校は独自の指導方針を売りものにしてしているため、他校の広報手法に倣うことは難しいと言わざるを得ない。

とはいえ、従前のやり方を繰り返しているだけでは、募集状況の改善は期待できない。最近の若者が SNS を多用していることを把握し、SNS による広報活動を強化しているが、まだ専門の業者を利用して大々的に移行する段階にはない。

### 点検項目【7-50】学生学納金

#### 評価者意見・質疑

□大学の無償化は進んでいるようだが、専門学校は無償化はないのか。

#### 学校からの回答

専門学校においても高等教育の修学支援金制度等を活用できる。保護者の学費負担は大きく減少している。制度の仕様として経済的に厳しい家庭の方が支援は厚いので、活用できているように思う。

高等課程については就学支援金があり、保護者の所得制限もなくなるため、より効果を得やすい制度となっている。

## 基準 8 財務

### 点検項目【8-51】財務基盤

### 点検項目【8-52】予算・収支計画

### 点検項目【8-53】監査

### 点検項目【8-54】財務情報の公開

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

## **基準 9 法令等の遵守**

点検項目【9-55】関係法令、設置基準等の遵守

点検項目【9-56】個人情報保護

点検項目【9-57】学校評価

点検項目【9-58】教育情報の公開

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

## **基準 10 社会貢献・地域貢献**

点検項目【10-59】社会貢献・地域貢献

点検項目【10-60】ボランティア活動

点検項目【10-59】公開講座・教育訓練

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

## **基準 11 国際交流**

点検項目【11-62~65】国際交流

### **評価者意見・質疑**

□近年、我が国にも留学生が増えているが、東京 CPA 会計学院では受入れに積極的にはならないのか。

### **学校からの回答**

当校としては、指導の独自性を理由に留学生の受入れには消極的であったが、来年度には

2名の留学生を受け入れる予定である。その2名の指導実績を経て、将来の留学生受入れ体制の整備、留学生戦略を考えていきたい。

以上

学校法人高橋学園

専門学校東京 CPA 会計学院

〒164-0001 東京都中野区中野 3-39-9

学校関係者評価報告書についてのお問合せ先

経営企画部